

## 第7回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

- 1.開催日時 平成20年9月25日(火) 午後3時30分～午後4時30分
- 2.開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
- 3.出席者 17名(本人出席15名、別添名簿参照)
- 4.事務局出席 甲府商工会議所 地域振興部 部長 小林 明  
" " 課長 越石 寛  
LLCまちづくり甲府 業務担当 望月雅樹

### 5.議事内容等

開会の後、望月会長より、「麻生内閣が発足して、一番の課題は景気対策と考えている。特に、地方経済が大変厳しい状況になっている。山梨県の経済も同様であるが、その中心である甲府市中心市街地の再生なくして、山梨県の経済の回復・繁栄はないと考えているので、当協議会の委員の皆様のご協力をお願いしたい。」旨のあいさつをした。

続いて、7月に甲府市副市長に就任された宇野氏にごあいさつ方々自己紹介をお願いした。

その後、望月会長に議長に就任いただき、まず議事1)について、甲府市に説明を求めた。

#### 1) 甲府市中心市街地活性化基本計画の最終提案の説明(甲府市より)

甲府市の中心化市街地活性化主幹 中澤氏より、6月に説明して変更があった点や国との協議の中で指摘されて変更した内容などについて、別添資料「甲府市中心市街地活性化基本計画」(案、08.9.24付)に基づいて概要説明があった。

その中で、前回の説明以降変更した大きな点としては、目標数値が歩行量・居住人口・小売販売額の3点に確定し、これに基づいて事業内容を整理したことなどの説明があった。また、今回が国に申請する前の最終案になることも説明し、各委員に計画全体の承諾について理解を求めた。

議長は、甲府市の中澤氏からの説明の後、各委員に意見・質問を求めたところ、次のよう意見が出された。

高野委員：今回の案でだいぶわかり易い内容になってはきたが、最終的にどのような街になるかまだイメージし難い。目標に対して、具体的に事業がどのようにリンクしてくるのかももう少し明確にしてほしい。

望月会長：前回も意見を述べたが、中心市街地の活性化には観光の要素が必要と考えている。例えば、ほうとうなどの食を活用した事業や産業観光という意味から山梨の農産物を活用した事業も検討してほしい。

丸茂委員：小売販売額が目標値に加わったことが大きなポイントではないかと考える。他の二つの目標以上に達成のためには神経を使う必要があると考える。

望月会長：今後、ヴァンフォーレ甲府を活用した事業にも積極的に取り組んでほしい。

議長は、以上各委員から意見を踏まえて、甲府市より説明いただいた甲府市中心市街地活性化基本計画の最終案を国に申請することに際して確認したところ、全員より賛同の挙手が上がり、全会一致で了承した。

なお、各委員からは、出された意見については、基本計画の意見書（回答）を提出する際の参考とした。

続いて、議長は、議事２）について事務局に説明を求めた。

## ２）ＬＬＣまちづくり甲府の活動状況の報告

事務局より、６月２６日に開所式を行って以降、９月中旬までの約３か月間の事業経過について、平成２０年度の事業計画をもとに説明した。

議長は、事務局からの説明の後、各委員に意見・質問を求めたところ、特になく議事２）を終了した。

議長は、最後に各委員並びに事務局に対してその他の案件について、意見等を求めたところ、特になく、議事を終了した。

第７回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属団体・役職名	9/25
会長	望月政男	甲府商工会議所 副会頭	
副会長	長坂善雄	甲府商店街連盟 会長	
〃	大村俊介	甲府市大型店協議会 会長	
〃	有井昇	(株)山梨中央銀行 取締役 営業統括部長	代
委員	宇野善昌	甲府市 副市長	
〃	丸茂紀彦	甲府商工会議所 常議員	
〃	笹本文人	甲府商工会議所 事務局長	
〃	高野洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 専務取締役	
〃	河西真一	甲府中央商店街新生協議会 会長	
〃	樋口幹男	朝日通り商店街(協)	
〃	宇佐美太郎	紅梅地区再開発組合 理事長	
〃	浅川健一	春日地区自治会連合会 会長	
〃	清水明	〃 副会長	×
〃	雨宮正英	山梨交通(株) 常務取締役	代
〃	牛奥久代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	
〃	森澤昌子	子育て支援団体「ハッピーキッズ」代表	
〃	市原実	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 教授	
〃	丹沢良治	NPO法人 街づくり文化フォーラム 理事長	×
オブザーバー	岩波輝明	山梨県 商業振興金融課 課長	
〃	遠藤弘	甲府警察署 交通課 課長	×

= 出席、× 欠席、代 = 代理出席